

「食卓の風景」 比較

「夕食をよく一緒に食べる人」を、家族と一緒に住んでいる人についてみると、北京・上海では、父、母、友人など複数人で食えることが多く、特に休日でその傾向はより強く表れています。また、北京の男性は平日、休日にかかわらず、仕事関連の人と食事するとの回答が多いのが特徴的です。東京では、平日の夕食が北京・上海と比べて高い孤食率となっています。また、東京の男性は、休日に子供と一緒に食事を取る割合が平日に比べ大きく増加していることから、平日には子供と一緒に食事を取れない父親像が見えます。

食事は家族と一緒に食べるのが一番！

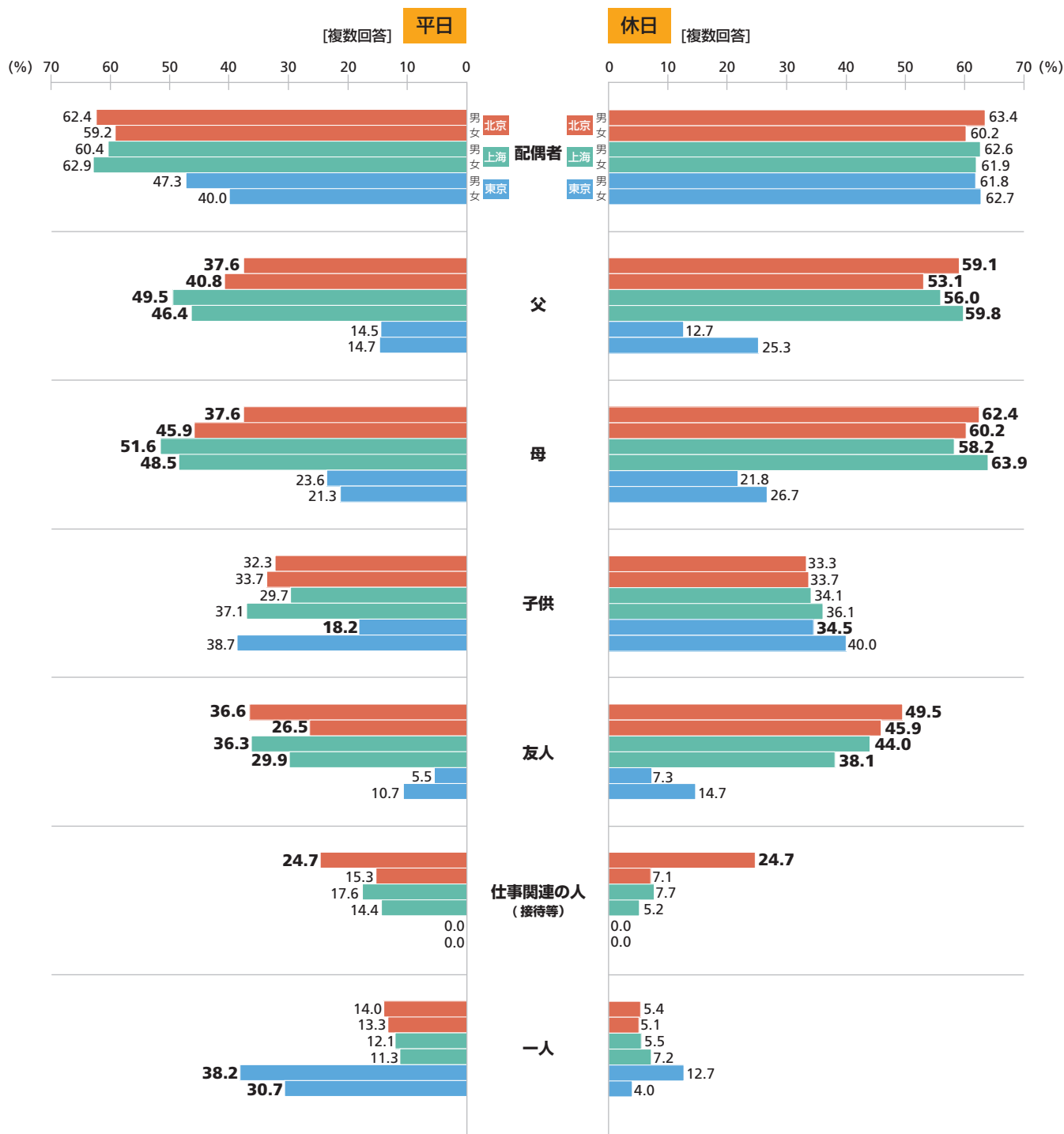


〈北京〉

夕食をよく一緒に食べる人
〈家族と同居している人〉

北京 (男) n=93 (女) n=98 上海 (男) n=91 (女) n=97 東京 (男) n=55 (女) n=75

*各都市 [上帯：男性] [下帯：女性]



「夕食のおいしさに重要なこと」について、北京・上海では「家族」に関する項目が高く、おいしく食べるためには家族が集うことが重要であることがうかがえます。また、食べ慣れた味を好む傾向がある一方で、新しい料理・味が入っていることも重要視をしています。経済発展、オリンピックの開催に伴い、食に関する新たな情報も入ってきている様子が見えます。一方、東京では、「料理」そのものに対するこだわりが見えます。

独りで食べるのに慣れてしまってるな……



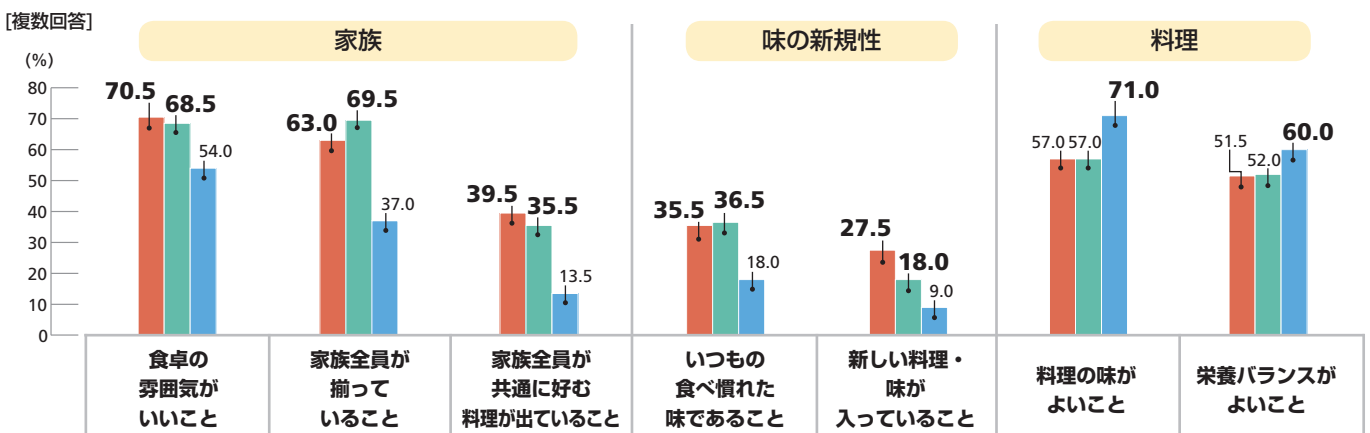
〈東京〉

「自分が子供に身につけたい食事のマナー」について、食べ残し、食事中にする他のことなどについては、3都市とも共通して高い結果でしたが、東京では食器の持ち方や姿勢、挨拶など、形式を重視する傾向が見られました。

「今後の食生活をどのように変えたいか」について、北京・上海では健康を重視する声が多くあげられました。一方、東京では栄養バランスを考える、品数・野菜を増やすなど具体的な意向が示されましたが、特に無しと答えた人が35%もいたことは特徴的でした。食生活について無関心のようにも見えますが、充実していることの表れととらえることもできます。

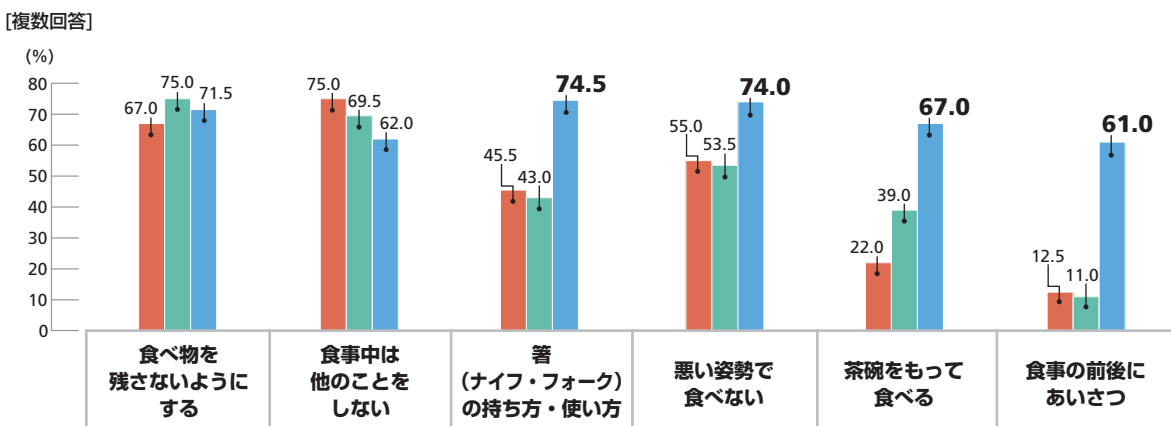
夕食のおいしさに重要なこと

北京 n=200 上海 n=200 東京 n=200



自分が子供に身につけたい食事のマナー

北京 n=200 上海 n=200 東京 n=200



今後の食生活をどのように変えたいか

[自由回答] (%)

	1位	2位	3位	
北京 n=200	健康重視した食事 30.5	栄養バランスを考えた食事 17.5	栄養がある食事 11.0	特に無し 1.5
上海 n=200	健康重視した食事 27.5	栄養がある食事 14.5	おいしい食事 9.5	特に無し 3.5
東京 n=200	栄養バランスを考えた食事 12.5	品数を増やした食事 8.5	野菜が多い食事 7.5	特に無し 35.0